

BS Medical Express 36

～ ベルシステム24が、お客様の課題解決のお役に立てるよう、医療関連の最新情報をお届けする月刊誌です。～

国の健康・医療に関するスマートシティ実現に向けた取組み

Government Watch

2050年には世界人口の7割が都市に集中すると予測され、環境問題対策や都市機能の向上等が求められており、ICT等の技術を活用して都市や地域が抱える諸問題の解決や社会全体の最適化を図ることを意味するスマートシティが注目されている。

18年8月、国交省は「スマートシティの実現に向けて(中間とりまとめ)」を発表、現状や課題を踏まえ、今後の方向性の整理を行った。19年6月には、「統合イノベーション戦略2019」を閣議決定、官民の連携プラットフォームの構築を行うことが明記された。同年8月、内閣府、総務省、経産省、国交省の4省庁は、企業、大学・研究機関、地方公共団体等を会員とする、「スマートシティ官民連携プラットフォーム」を設立、各地域のスマートシティの社会実装を目指し、積極的な支援を行っている。

スマートシティの重要なテーマの一つに健康・医療があり、その代表例の一つに福島県会津若松市の例が挙げられる。同市のスマートシティ会津若松では、「バーチャルホスピタル会津若松」を掲げ、一元的に健康管理・医療・介護を担い、一つの医療機関とみなすことで、地域全体で医療や介護を支えることを目指している。また、札幌市では、健康寿命が全国平均を下回っている状況であり、スマホを活用し市民の歩数に応じた「健幸ポイント」等のインセンティブにより行動変容を促すとともに、健康データの取得を行い、街づくりや健康サービスへ活用している。

人口減少や健康寿命の延伸は、個々の自治体だけでなく、日本全体の課題でもあり、スマートシティの取組みが進むことにより、日本の全体の最適化につながることを期待されている。

表 スマートシティ関連事業における主なプロジェクト(健康・医療関連)

自治体	プロジェクト名
北海道	札幌市 ICTにより健康・快適を実現する市民参加型スマートシティ
	旭川市 ドローン・IoT等の未来技術を活用した非対面医療サービスの構築
	芽室町 高齢者<過疎>に優しい共生・支援型 芽室MaaS事業
福島県	会津若松市 シティズンセントリック型スマートシティ事業
茨城県	つくば市 顔認証やアプリを活用するキャンパスMaaS及び医療MaaS実証実験
埼玉県	さいたま市 流行予測AIを活用した「感染症予報サービス」の社会実装及びMaaS連携
千葉県	千葉市 慢性眼疾患の治療継続率向上を目的とするMaaSを活用した患者サポートプログラム
長野県	伊那市 ICTライフサポート・チャンネル構築事業
静岡県	浜松市 中山間地域における医療MaaSプロジェクト
三重県	9自治体 マルチタスク車両を活用したオンデマンド医療MaaS実証実験
島根県	美郷町 映像告知やドローン等の未来技術を活用した遠隔医療実装による医療福祉産業イノベーションの実現
福岡県	飯塚市 スマート・ウェルネス・シティサービス展開事業

出典:スマートシティ官民連携プラットフォームホームページを元に作成 <https://www.mlit.go.jp/scpf/projects/index.html#projects01>

自前から協業へ、多様化する医薬品情報提供

Industry Trends

プライマリーからスペシャルティへの製品構成の変化、情報提供ガイドラインの本格施行、医師の働き方改革など医療現場を取り巻く環境変化に加え、新型コロナ感染症拡大等の様々な要因により、MRを通じたリアルな情報提供から、オンラインやリアル+デジタルのハイブリッドによる情報提供が常態化している。また、担当施設を持たないリモート専用MRの設置や、MSL、企業に所属し患者サポート等を支援するエデュケーション・ナース、地域包括ケアシステムの推進を支援する職種など、MR以外の職種による情報提供も活発化している。MR認定センターの調査ではMR数は2013年度の65,752人をピークに、21年度は51,848人まで減少しており、今後も減少トレンドが続くと予想されるが、オンライン専任MR(認定取得者)が382人初めて確認された。CSOのアウトソーシング比率は18年5.0%から21年は6.4%に増加、CSO活用企業も21年は138社と過去最高となった。

卸においても、18年10月スズケンとEPSホールディングスが合併会社ESリンクを設立、20年8月に東邦ホールディングスがエンタッチと資本提携するなど、MSに代わって製薬企業から委託を受けたスタッフによるリモートでの情報提供のサービスに乗り出している。

最近の新たな動きとしては、医療プラットフォームのケアネット、メディアが相次いでCSO事業を買収、デジタルコンテンツとMRを融合した新たなサービスに進出した。この分野では、すでにエムスリーが医療従事者向けプラットフォームを基盤に医療分野、製薬企業を視野に入れ多角的な展開を見せており、これに追随することになる。医薬品における情報の提供・収集・伝達の本質は変わることはなく、高い資質を有するMRにより広く新しいリソースが加わることで情報の総合的な信頼性が一層高まり、新しい価値が生み出されることが期待される。

報道によれば、米アマゾンは8月24日、医療サービス「アマゾン・ケア」を2022年末に終了する。アマゾン・ケアは20年2月、ワシントン州の社員及び家族を対象に開始した福利厚生サービスで、医師等とのオンライン医療相談や、必要に応じて訪問診療・看護、血液/胸部検査も受けられる。21年3月に同サービスを全米において他社に拡大すると表明、今年2月にはワシントン州等 8 都市で提供してきた対面診療のサービス提供地域を米国20都市以上に拡大すると表明するなど、業容拡大が報道されていた。同社によると、ターゲットである大企業顧客向けとして十分なサービスではなく、長期的に機能しないとの見方から事業終了に至った模様である。

一方、同社は7月21日、プライマリ・ケアサービスを提供するワン・メディカルを約39億ドルで買収すると発表した。ワン・メディカルは登録ユーザー数約80万人、188医療機関と提携、年会費199ドルを支払えば、オンライン診療やこれら医療機関のどこでも受診が可能である。また、個人だけでなく企業の福利厚生としても利用可能であり、どちらも契約数を伸ばしている。アマゾン・ケアの終了により同社のヘルスケア戦略は後退したかに見えたが、188の医療機関ネットワーク、ワン・メディカルが保有する約80万人分の医療データ等のアセットを有することで、巨大な医療産業(年間約4兆ドル)に再参入することとなり、今後の展開が注目される。

表 米アマゾンの医療分野への取り組み

年月	取り組み
2022年	8月 「アマゾン・ケア」を22年末で終了すると従業員に告知
	7月 対面とオンラインでの初期医療サービス企業「ワンメディカル」を39億ドルで買収
	2月 対面診療のサービス提供地域を米国20都市以上に拡大すると表明。オンライン医療は既に全米で利用可能
2021年	3月 社員向け医療サービス「アマゾン・ケア」をワシントン州の他社に提供開始
2020年	11月 米国で処方箋薬をオンライン販売する「アマゾン・ファーマシー」を開始
	7月 医療サービス企業「クロスオーバーヘルス」と提携、社員向けクリニック開設を公表
	2月 ワシントン州で社員とその家族向け医療サービス「アマゾン・ケア」を本格的に開始
2019年	10月 遠隔診断/重篤度判定ツール等の開発企業「ヘルス・ナビゲーター」を買収
	9月 医療サービス部門「アマゾン・ケア」を新設、実験プロジェクトとしてサービス開始
2018年	6月 処方箋薬のネット販売企業「ピルバック」を買収

出典:プレスリリースを元に作成

文献投稿について

Message From Our Business

弊社社員の文献が投稿されました。



タイトル:「監視事業報告書」にみる製薬企業の販売情報提供活動の動向

雑誌名:国際医薬品情報2022年9月12日通巻第1209号

要旨:2021年度の監視事業報告書を時系列にまとめ、販売情報提供活動の課題や改善点、医療関係者に求められる点等を考察しています。

執筆者:第5事業本部 第5事業企画部 事業支援グループ 塚前昌利

<https://www.kokusaishogyo.co.jp/kokusaiyakuhinjoho/20229121209.html>

文献に関する問い合わせは、弊社HPの「お問い合わせ」よりご連絡ください。

<https://www.bell24.co.jp/ja/inquiry/index.html>

編集後記

アマゾンが日本で処方薬をネット販売するとの報道がありました。患者さんはオンライン診療などを受けた後、アマゾンのプラットフォームを通じてオンライン服薬指導を受け、アマゾンのサイト上に登録している薬局でオンライン服薬指導を受け、薬が自宅に届く仕組みです。既に多くの競合が同様のビジネスモデルに参入している中で、後発の同社がどう風穴を開けるのが注目されます。

BS Medical Express No.36

発行日:2022年9月30日(毎月最終営業日発行)

企画編集:塚前昌利

(日本医薬経営コンサルタント協会 認定登録 医薬経営コンサルタント)

発行部署:株式会社ベルシステム24 第5事業本部 第5事業企画部 事業支援G

お問合せ:03-6219-4666(営業代表) HP:www.bell24.co.jp